今日世

۰

園藝植物トシ

テ廣

ラ之ヲ襲

甮

シテ其非ヲ悟

ラザ つ世間

w

モノアリ依テ此ニ其妄ヲ辯ジ世ノ誤ヲ正サン

ŀ

ス

擴マレルむさわらぎくヲかいざいくト誤稱シ子弟ヲ教育スル教師

著書

ノ葉柄

ŀ

÷

ル葉柄ヲ合セテ數寸ノ長アリ、

莖上

ノズ葉

ご 細

小

ニシテ互ニ

相離在シ

一銳尖頭

グラナ

ス〇頭狀花

幹枝

)誤稱 ノかいざいくト眞正ノかいざいく

牧 野 富 太 鄓

其種子ヲ歐洲ヨリ傳ヘシナラン テ柔ク白綿毛下面ニ多クシテ平布 少白色ノ綿毛ヲ被フル〇莖ニハ縦 爾品 日日 いざいくハ學名ヲ v 般二世 バ則チ眞 ハきく科 ට 中ノははこぐさ族ニ 、かいざいくハ如何ナル品乎今次ニ此兩植物ヲ圖說シ以テ之ヲ明ニスペシ 稱 スルかいざいく Ammobium alatum セリ、 ニ著シキ翼アリ即チ莖葉 屬シ共ニ濠洲ノ原産ニシテ明治 いかいざいくニ非ズシテむざわらざくナリ之ヲかいざいくト 根生葉 벍 ハ披針形乃至卵形ヲナシテ銀頭ヲ有シ下部 ト稱ス〇 ノ邊縁 年生或 ョリ流下シ ハ越年生 ノ初年頃我邦ニ 來リタ ノ草本ニシ 'n 渡り來リ æ テ直立シテ枝ヲ分 ナ ハ狹窄シテ長キ翼狀 ,リ〇葉 Þ n Æ 稱呼スペ ノナ リ多分 カラ

方ノモノハ内方ノモノヨリ短クシテ殆ンド無柄 アリ乾質純 頂末ニ獨在 ・テ内面 テ い微凹 白 性 ス〇花床(花托)ハ多少凸隆ス〇總苞 色ニシテ花瓣ノ狀ヲ裝ヒ各片廣キ 外面 ナ ス〇花冠 ハ背ニ稜ヲ呈シ末端 ハ黄色ニシテロ ハ微凸頭 ۸ر ... ナリ、 五歯ニ 卵形ヲ呈ス内方ノモノ ハ半球形ヲナシ、 ヲナス濁褐色ニシ 花床上ナル 分ル○冠毛ハ孌ジテ膜質ノ短キ杯形ヲナシ全邊或 花間 總苞片 ジ鱗片 テ上部 ハニ三**分許**ノ ハ多列ニ ハ白色ナリ〇小 ハ大ニシテ倒披針 シテ開 長アリテ廣キ短柄ヲ具へ外 出 花 徑凡六乃 ハ數多 ルヲナ 至 總 剛 質 テ 答

テ其學名ヲ

ク漸



原 テ之レニ alatum (有翼ノ義) 精研シ其沙地ニ生ズルヨリシ ノニュー、ソ ブラウン氏ノ始メテ發見スル所ニシテ同氏 希臘語ヲ基トシテ此ニAmmobium ナル 90 シテ末 沙 シ 地 テ二邊四稜 ニ野生ス〇本 1 端稍肥厚シ ス、ウェー F アリ〇 種 且 n スノー地ニ)豪洲 ハ西暦 ツ截形ヲ呈 w 小 ナル種名ヲ加ヘテ之 テ乃チ沙並ニ生活 尾 原產 7 一千八百四年豪洲 ŋ 於テロ 地 ス〇痩果 新 在テハ 屬ヲ建 ハショ 1 平 平 ナ 1

學所藏標品(明治十二年製)ノ名箋ニ記スル所ニシテ就中むぎがらばなノ名最モ舊シ即チ始メテ明治 小石川植物園草木目錄(東京大學理學部印行)ニ出ヅ而シラ當時尚未ダむぎわらぎくノ名ノ此等標品 むぎわらぎくハ又むぎがらばな、 二尺アリ往々種子ョリ生ジテ其年内ニ花ヲ出シ一年生ノ觀ヲ呈スルコト ク明治十九年出版同大學植物標品目錄(理學博士松村任三君編纂)ノ中ニ始メテ之ヲ見 Helichrysum bracteatum むぎがらぎく、 WILLD. ト云フ〇多年生ノ直立草本ニシテ或ハ枝ヲ分チ或 むざわらかいくト稱ス此下ノ三名ハ共ニ東京帝國大學 ア y 或 ハ毛ナ クの或 糙澁シ或 ルニ 不ラ 上 至 ズ高 年 ハ少シ レリ而 繹 出 理 版 科 ヌ 大 ~

總苞片ガ貝細エニ擬シ

得ベキヲ以テナ

y

此品今日我邦ニ鮮シ予ハ近來絕テ之ヲ見

Ammobium alatum R.

Br. ト學稱

シ

ダ

ŋ

B

IV

3

ŀ

一剛質

ナシ而シテ之ヲかいざいくト云フハ其純白

誤稱ノかいざいくト眞正ノかいざいし

ス 毛 長 ヲ キ 至 散 Æ v 布 y 1 ス 全邊 ۱ر 往 1. k モ = 綿 四 シ テ微 五 毛 寸 ハ 凸 敢 = 達ス緑 テシャ 实 ヘアル 一銳頭 色 -}-= 3/ 3/ T 0 テ ナ 葉 時 ス ハ 線 = Ħ. 微 形 生 沔 3 粘 至長 無 質ヲ帯 柄 橢 ナ 圓 v 狀 ブ 1. 披 w Ŧ = 針 下 形 ŀ 部 7 = y 3 Æ Ó テ 下 頭 狀 葉 部 花 本 æ 漸 大 次 = 倒卵狀] シ 狹

T B Ť < (縮圖)

半球形ニシ

テ開

出

シ

寸餘

ノ徑ア

リ剛質滑

=

V

テ黄色ヲ呈

ス

w

ヲ

本

ŀ

3

其

他

4

y

即

チ 在

薬色

テ

頂 長

獨 圓

ス ヲ

0 早

形

窄

3/

テ

柄

ヲ

絲 齒 IJ モ 狀 Æ 花 短 內 = 闊 ヲ 孙 方 極 ナ ハ 柄 ス V 1 筒 雌 白 シ テ ァ Æ 小 花 多數 部 y 色 針 最 = ナ ٧. y 齒 漸 極 ヲ 內 3 算シ 〇花 テ 7 メ 1 次 リ上 テ 少 Æ 總苞 狹 冠 長 シ 1 瘦 部 7 ク 1 ハ 黄色 花 ī 狹 **シ** ナ > ý 半 テ 肥 冠 長 長 多クク 3 厚 = 冠 V y セ シ 3 毛 テ テ寧 短 ズ y ハ 舷 披 基 シ Æ ١٠ 部 針 短 長 U 葯 1 口 **≥** 短 形 微 外 3/

Ŧî. 部

1. ナ

ヲ ス

有

3/

方

E

ハ

短 片

7 ٠, Æ ブ

シ

テ卵

形 シ

ヲ

ナ

シ 頭

無 或 竹 白

柄

ナ

Æ

7

ŋ

總苞

多數

=

テ

鈍

銳頭

ア

ŋ

或

白

福 色 然

色 ヲ

ア

y

又或

、石 或

色ヲ呈

≥/

テ多少紅褐

w 1

> Æ 種

ァ

y 色ア 梗

色

Æ

テ

7

テ 屬 中 頭 多 7 數 ŋ 1 딞 種 ラ含 X IJ m 3 テ 此 愿 名

۱د

舊

此むぎわらぎく

屬

ス

w

Helichrysum

蜃

いさく

科中

1

大屬

2 微

扁 瘦

平 長

3/ ナ

且

ッ 小

驷 尾

狀

|角形ヲ呈ス〇

瘦 線

及果ハ無

IV

ヲ

有

ス

Ō

花

柱

枝

形

テ上

端

槲

ハ音こくナリ

丽

シテ檞

ハ音か

v

= jν

୬

テ蓋 モ

シ是レ松心即チ肥

工松乎肥工

松

朽松ノ材心脂ニ富ムノ部

ナ ŋ 字

ナリ文學者、由來文字ニ明カナ

檞寄生ノ リテ檞字ヲ用

名ナ

シ槲寄生ハ即チやどりきノ漢名ナリ

井以テ檞寄生科ト

ナシ今日出版ノ書尙此誤ヲ改メザ

jv

モノモノアリ世ニ槲寄生ノ名アリ然レド

中芳男先生二

シ

テ

々其槲字ヲ誤

太

郞

某文學者自著ノ文集ニ題シテ檞の葉ト云フ然ドモ是レ當サニ槲の葉ナラザルベカラズ槲

ノ尙此誤アリ所謂千慮ノ一失ナル

Æ

,

乎呵

ハなら、

Z)

しは等

號一第 卷一第誌雜究研物植 ナリ 即チ明治五年出版ノ垤甘度爾列氏植物自然分科表ニ從來自然分科中ノ Loranthaceaeヲ槲寄生科ト譯セリ 今左ニむぎわらぎく及じかいざいく兩種ノ檢索表ヲ揭 むぎわらぎくノ名ハ其總苞片ノ剛 テ (一)莖ヲ通ジテ著シキ綠色ノ翼アリ、 オ)莖ニ翼ナシ、 冠毛ハ常形ニ フ ニ鱗片アリ、 ラ ス ッ ス 氏 シテ毛ヲナス 頭狀花ハ徑一 冠毛ハ變ジテ單ニ杯 使 力 用 ₹/ B w 寸餘、 クシテ黄色ヲ呈スル恰 希 物自然分科表二於 臘 h 名 形 總苞ハ黄色ヲ本 頭狀花、徑六七分、 = ŀ シ テ其語 ナ ini ノ下半 テセリ シテ本科 ŀ モ麥稈ノ シ種々ノ色アリ、 ハ黄 然ル 總苞 金 ニ始メテ此譯語 二後 如 ノ義 總 キヲ以テ斯 テ純 ノ此譯語ヲ襲用 ナ y 白色、 即 花床ニ チ ク呼 其花 ラ下 花 牧 鱗片ナシ、 床 F, セ ノ黄色ニ スル タル = シ 野 むぎわらぎく か モノ往 田 花 v Æ 富

基キテ名ケシ

æ

1

ナ

y

間 3

V

<

槲 力 檞

ħ